

平成20年度

三郷町教育委員会の権限に属する事務の管理
及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する
報告書（平成19年度対象）

平成21年3月

三郷町教育委員会

目 次

はじめに	1
I 点検・評価の概要	2
1 点検・評価の目的	2
2 点検・評価の対象	2
3 点検・評価の実施方法	2
II 町教育委員会の活動状況	2
1 教育委員会の開催状況	3～7
III 施策の点検・評価	8
1 施策の体系	8
2 事業評価シート	
1－① 学校施設の整備	9
1－② 児童生徒の進学奨励	10
1－③ 特別支援教育の推進	11
1－④ 情報化・国際化に対応した教育環境整備	12
1－⑤ いじめ・不登校児童生徒の対策	13
1－⑥ 地域とともにつくる豊かな学校教育	14
1－⑦ 学校給食体制の整備	15
2－① (1)魅力ある幼稚園づくり(地域に開かれた幼稚園)	16
2－① (2)魅力ある幼稚園づくり(教員の資質向上)	17
2－② 親と子の学びと成長への支援	18
3－① 非常時安全対策の向上	19
3－② 児童生徒の安全確保	20
4－① 生涯学習の推進	21
4－② 青少年の健全育成	22
4－③ 人権教育・啓発の推進	23
4－④ 文化センターの充実	24
4－⑤ 文化活動団体への支援	25
4－⑥ 図書館の充実	26
5－① 文化財・歴史的資料の保護	27
6－① 生涯スポーツと健康づくり	28
6－② 体育施設の充実	29
参考資料 地方教育行政の組織及び運営に関する法律～抜粋～	30

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。(同法第27条第1項)

同法の規定に基づき、このたび、平成19年度三郷町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行いましたので、その結果をまとめ報告いたします。

平成21年3月

三郷町教育委員会

委員長	鶴丸	浩
委員	芝崎	善彦
委員	木谷	善兵衛
委員	川崎	洋子
委員(教育長)	山野	一明

I 点検・評価の概要

1 点検・評価の目的

町教育委員会では、毎年、様々な施策や事業に取り組んできました。このたびの法改正を受け、町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検・評価し、これまで取り組んできた施策の課題等を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図るとともに、公表することにより開かれた教育行政を推進することを目的としています。

2 点検・評価の対象

次に掲げる項目について、平成19年度の実績に基づき、点検・評価を行いました。

- ①町教育委員会の活動状況
- ②町教育委員会が実施する施策及び事業

3 点検・評価の実施方法

- ①町教育委員会の活動状況については、平成19年度の教育委員会の開催状況や審議事項等を総括し点検しました。
- ②町教育委員会が実施する施策及び事業については、平成19年度に取り組んだ事業等を20の施策内容に分類し、それぞれの事業の取り組み状況を基に「事業評価シート」にまとめました。

II 町教育委員会の活動状況

平成19年度の町教育委員会の開催状況をまとめています。

教育委員会会議は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第13条）及び「三郷町教育委員会会議規則」に基づき、18回（定例12回、臨時6回）開催しました。

審議事項については、「議案」として記載しています。また、「三郷町教育委員会の権限に属する事務の一部委任及び臨時代理に関する規則」に基づき専決した事項及びその他の報告事項については、「報告」に分類し記載しました。

平成19年度 教育委員会の開催状況について

会 議	平成19年 第4回定例教育委員会	開会日	平成19年4月20日(金)
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町立幼稚園保育料等徴収条例の一部改正について ・三郷町放課後児童クラブ条例の制定について ・教職員の人事異動について ・教育委員会事務局職員の人事異動について ・全国学力・学習状況調査の実施について ・総合的な学習の時間におけるNPO等の外部人材の活用推進事業について ・地教委連絡協議会総会について ・各課別報告 		
会 議	平成19年 第5回定例教育委員会	開会日	平成19年5月31日(木)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町立学校の管理運営に関する規則の一部改正について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度三郷中学校耐震補強及び施設改修工事請負契約の締結について ・平成19年度三郷町一般会計補正予算（第1号）について 「放課後児童クラブ運営事業」「問題を抱える子ども等の自立支援事業」 「文化財保護事業」 ・財団法人三郷町文化振興財団の経営状況について ・各課別報告 		
会 議	平成19年 第6回定例教育委員会	開会日	平成19年6月29日(金)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町立幼稚園の保育料等徴収条例施行規則の一部改正について ・三郷町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・給食材料費の滞納状況について ・各課別報告 		
会 議	平成19年 第7回定例教育委員会	開会日	平成19年7月24日(火)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度町立学校（園）計画訪問の実施日程について 		

会 議	平成19年 第8回定例教育委員会	開会日	平成19年8月21日(火)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町放課後児童クラブ条例施行規則の制定について ・三郷町立学校の体育施設開放に関する規則の一部改正について ・平成19年度町立学校(園)運動会・体育大会の実施日程について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度町立学校(園)計画訪問の日程について ・三郷町心身障害児就学指導委員会委員の候補者について ・総合的な学習の時間におけるNPO等の外部人材活用推進事業(文部科学省研究指定)第3回校内授業研究会の実施について ・学校給食における食材について ・各課別報告 		
会 議	平成19年 第9回定例教育委員会	開会日	平成19年9月27日(木)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町放課後児童クラブ条例施行規則の一部改正について ・三郷町教育委員会文書管理規程の一部改正について ・三郷町心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度三郷町立南畑幼稚園園児募集について ・各課別報告 		
会 議	平成19年 第1回臨時教育委員会	開会日	平成19年10月1日(月)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町教育委員会委員長及び職務代理者の選任について 		
会 議	平成19年 第10回定例教育委員会	開会日	平成19年10月22日(月)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について ・学校評議員の委嘱について ・平成20年三郷町成人式の開催について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		

会 議	平成19年 第2回臨時教育委員会	開会日	平成19年10月31日(水)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度全国学力・学習状況調査結果について 		
会 議	平成19年 第11回定例教育委員会	開会日	平成19年11月19日(月)
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町立学校の体育施設開放に関する条例の制定について ・専決処分書について ・各課別報告 		
会 議	平成19年 第12回定例教育委員会	開会日	平成19年12月21日(金)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について ・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	平成19年 第3回臨時教育委員会	開会日	平成19年12月30日(日)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町教育委員会の公印に関する規程の一部改正について ・三郷北小学校の校長職務代理の承認について 		
会 議	平成20年 第1回定例教育委員会	開会日	平成20年1月28日(月)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町立学校の体育施設開放に関する条例施行規則の制定について ・平成19年度卒業(園)式及び平成20年度入学(園)式について ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について ・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・給食材料費の滞納整理状況について ・各課別報告 		

会 議	平成20年 第1回臨時教育委員会	開会日	平成20年1月31日(木)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について 		
会 議	平成20年 第2回定例教育委員会	開会日	平成20年2月25日(月)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町教育委員会事務局組織に関する規則の一部改正について ・三郷町教育委員会事務局職員の職の設置に関する規則の一部改正について ・三郷町立幼稚園規則の一部改正について ・三郷町立学校職員のセクシュアルハラスメントの防止等に関する指針の制定について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食材料費について ・各課別報告 		
会 議	平成20年 第3回定例教育委員会	開会日	平成20年3月25日(火)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員の委嘱について ・三郷町教育委員会事務局事務決裁規程の一部改正について ・三郷町教育委員会の権限に属する事務の一部委任及び臨時代理に関する規則の一部改正について ・三郷町教育委員会文書管理規程の一部改正について ・三郷町教育委員会の公印に関する規程の一部改正について ・三郷町立学校の管理運営に関する規則の一部改正について ・三郷町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について ・三郷町立幼稚園の保育料等徴収条例施行規則の一部改正について ・三郷町立学校給食センターの設置及び管理運営に関する条例施行規則の一部改正について ・三郷町立学校給食センター運営委員会規則の一部改正について ・三郷町立図書館条例施行規則の一部改正について ・三郷町立学校における学校評価実施要綱の制定について ・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度予算案の概要について ・平成20年度町立学校（園）の教育課程について ・町長の権限に属する事務委任及び補助執行に関する規則の一部改正について ・学校評議員報告について ・各課別報告 		

会 議	平成20年 第2回臨時教育委員会	開会日	平成20年3月25日(火)
議 案	・結核の発症に伴う健康診断に関する保護者説明会について		
会 議	平成20年 第3回臨時教育委員会	開会日	平成20年3月31日(月)
議 案	・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について		

Ⅲ 施策の点検・評価

平成19年度に町教育委員会が取り組んだ教育施策を大きく6つの施策分野「1 学校教育の充実」「2 幼稚園教育・子育て支援の推進」「3 安全・安心の環境づくり」「4 生涯学習・文化活動の振興」「5 歴史的環境の保全」「6 生涯スポーツと健康づくりの振興」に区分しました。

次に6つの施策分野を20の施策内容（目標）に分類し、それぞれの施策内容につき具体的事業を掲げ、点検・評価を実施しました。点検・評価にあたっては、各事業における本町の概要や現状又は実績を明らかにするとともに、課題や今後の方向性を示すようにしました。

なお、施策内容の設定にあたっては、三郷町第4次総合計画に目標として掲げられているものを中心としています。

1 施策の体系

施策分野	施策内容（目標）
1 学校教育の充実	① 学校施設の整備 ② 児童生徒の進学奨励 ③ 特別支援教育の推進 ④ 情報化・国際化に対応した教育環境整備 ⑤ いじめ・不登校児童生徒の対策 ⑥ 地域とともにつくる豊かな学校教育 ⑦ 学校給食体制の整備
2 幼稚園教育・子育て支援の推進	① 魅力ある幼稚園づくり ② 親と子の学びと成長への支援
3 安全・安心の環境づくり	① 非常時安全対策の向上 ② 児童生徒の安全確保
4 生涯学習・文化活動の振興	① 生涯学習の推進 ② 青少年の健全育成 ③ 人権教育・啓発の推進 ④ 文化センターの充実 ⑤ 文化活動団体への支援 ⑥ 図書館の充実
5 歴史的環境の保全	① 文化財・歴史的資料の保護
6 生涯スポーツと健康づくりの振興	① 生涯スポーツと健康づくり ② 体育施設の充実

<p>施策分野</p>	<p>1 学校教育の充実</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>① 学校施設の整備</p>
<p>事業名</p>	<p>三郷中学校耐震補強工事</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○学校施設は、児童生徒の学習及び生活の場であると同時に、地域の災害避難所となっていることから、学校施設の安全性を確保するため、耐震化を推進する。</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>○学校施設の耐震化の状況（平成19年4月1日現在） 《対象：非木造2階建以上、又は延床面積200㎡以上》 耐震化対象棟数：20棟（南畑幼稚園1棟、三郷小学校6棟、三郷北小学校5棟、三郷中学校8棟） 昭和57年以降棟数：10棟（南畑幼稚園1棟、三郷小学校1棟、三郷北小学校5棟、三郷中学校3棟）</p> <p>【新耐震基準】 昭和56年以前棟数：5棟（三郷小学校5棟） 【耐震補強済】 昭和56年以前棟数：5棟（三郷中学校5棟） 【耐震補強未済】 平成19年度当初 耐震化率75.0% ※三郷中学校耐震診断結果（Is値） A棟① 0.24 A棟② 0.24 B棟 0.41 C棟 0.58 体育館 0.55</p> <p>Is値：建物の壁量や形状などから算出される指標で、配置バランスがよく、壁の量が多いほど高い値となる。Is値が高ければ高いほど耐震性能が高いことを示す。耐震補強促進法等では耐震指標の判定基準を0.6以上としている。</p> <p>○平成19年度実施事業 ・三郷中学校耐震補強工事 5棟 各棟のIs値が0.7以上となるように補強工事を行った。 平成19年度末 耐震化率100.0%</p>		
<p>点検・評価</p>	<p>○平成19年9月に三郷中学校の耐震補強工事が完了し、町立学校施設の耐震化率100%を達成した。</p>		

<p>施策分野</p>	<p>1 学校教育の充実</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>② 児童生徒の進学奨励</p>
<p>事業名</p>	<p>小中学校就学援助、高校入学支度金</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○小中学校就学援助 経済的な理由等によって、子どもたちの就学が妨げられることのないよう、学用品費や学校給食費などを援助する。</p> <p>○高校入学支度金 高等学校、高等専門学校又は、学校教育法に準じた学校への進学を容易ならしめ、その資質向上を図るとともに、学習意欲を高めるため入学支度金を給付する。</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>○小中学校就学援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要保護就学援助費認定者数 <ul style="list-style-type: none"> 三郷小学校 9人 三郷北小学校 0人 三郷中学校 5人 ・準要保護就学援助費認定者数 <ul style="list-style-type: none"> 三郷小学校 94人 三郷北小学校 23人 三郷中学校 74人 <p>○高校入学支度金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国公立 23人 (70,000円) ・私立 3人 (200,000円) 		
<p>点検・評価</p>	<p>○小中学校就学援助 援助を必要とする保護者の経済的負担を軽減することができており、今後も財政状況を勘案しながら継続する。</p> <p>○高校入学支度金 援助を必要としている保護者の経済的負担を軽減することができており、今後も財政状況を勘案しながら継続する。</p>		

<p>施策分野</p>	<p>1 学校教育の充実</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>③ 特別支援教育の推進</p>
<p>事業名</p>	<p>特別支援教育の推進、教育相談、特別支援教育就学奨励費</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○特別支援教育の推進 幼児・児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持っている力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う特別支援教育を推進する。</p> <p>○教育相談 就学前の幼児を持つ保護者に対し、障害等の状況に応じた適切な教育が受けられるよう教育相談を行う。</p> <p>○特別支援教育就学奨励費 特別支援学級在籍生徒の保護者に対し、その経済的負担の軽減を図るため、世帯の収入額が一定額以下である場合、学用品費や学校給食費などの一部を援助する。</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>○特別支援教育の推進 特別支援を必要とする幼児・児童・生徒を支援するため、町費による職員を各学校に配置した。 【配置職員数】 南畑幼稚園 2名 三郷小学校 3名 三郷北小学校 1名 三郷中学校 1名</p> <p>○教育相談 平成19年7月に就学前の幼児を持つ保護者を対象として、斑鳩町中央公民館において生駒郡合同の教育相談会を行った。 【相談件数】 三郷小学校区 8件 三郷北小学校区 6件</p> <p>○特別支援教育就学奨励費 【就学奨励費認定者数】 三郷小学校 7名 三郷北小学校 7名 三郷中学校 3名</p>		
<p>点検・評価</p>	<p>○特別支援教育の推進 町費による職員を各学校に配置したことにより、幼児・児童・生徒のニーズを細かく把握することができ、充実した教育を提供することができた。特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒は、今後も増加すると推測され、引き続き職員の配置が必要である。</p> <p>○教育相談 就学相談を行うことにより、保護者の不安を解消し、児童の円滑な学校生活へと結びつけることができている。今後もニーズに応じた相談体制を形成していく必要がある。</p> <p>○特別支援教育就学奨励費 特別支援学級に在籍する保護者の経済的負担を軽減することができた。</p>		

<p>施策分野</p>	<p>1 学校教育の充実</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>④ 情報化・国際化に対応した教育環境整備</p>
<p>事業名</p>	<p>校内LAN・コンピュータの整備、ALT派遣</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○校内LAN・コンピュータの整備 「各学級の授業においてコンピュータを活用できる環境」を目標に、校内におけるLANの整備を進めるとともに、教育用コンピュータの充実を図る。</p> <p>○ALT派遣 生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、ALTの派遣を行う。 LAN: Local Area Networkの略語。特定の場所や同一組織内での情報通信ネットワーク。 ALT: Assistant of Language Teacherの略語。学校における外国語授業の補助を行う外国語指導助手。</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>○学校内LAN・コンピュータの整備 ・三郷小学校及び三郷北小学校の両小学校については、校内LANの整備が完了しており、日々の授業において活用している。 ・小学校の教育用コンピュータは、平成11年度に導入を行ったが、機器も老朽化しており、またソフトも時代に合わないものとなってきたため、両小学校にコンピュータを20台ずつ新たに導入した。</p> <p>○ALT派遣 ・三郷中学校へ年間通じて1名のALTの派遣を行った。同ALTについては、中学校だけでなく、幼稚園や小学校へも派遣し、英語の学習や異文化理解など幅広い活動を行った。</p>		
<p>点検・評価</p>	<p>○学校内LAN・コンピュータの整備 ・小学校については、校内LANの環境も整備され、教育用のコンピュータも新たに導入したため、情報教育の充実が図れている。しかしながら、中学校は、校内LANの環境が整備されておらず、教育用コンピュータも老朽化している。 ・中学校における情報教育の充実を図るため、環境を整備する必要がある。</p> <p>○ALT派遣 生きた英語に触れることにより、英語学習への興味や関心を誘い、生徒の学習意欲向上に繋がっている。また文化の違いに触れることにより、国際理解教育へも生かされている。さらに幼稚園や小学校へも派遣をしているため、幼少期から英語に触れることができ、英語に対する敷居を低くすることで、今後の英語教育へと円滑に移行することが期待できる。</p>		

<p>施策分野</p>	<p>1 学校教育の充実</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>⑤ いじめ・不登校児童生徒の対策</p>
<p>事業名</p>	<p>子どもと親の相談員、スクールカウンセラー</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○子どもと親の相談員 児童や保護者が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげ心のゆとりを持てるよう子どもたちに接しながら、不登校やいじめの予防を図るため、小学校に子どもと親の相談員を配置する。</p> <p>○スクールカウンセラー いじめや不登校などの対策として、学校におけるカウンセリング機能を強化するため臨床心理士などの資格を持ったスクールカウンセラーを中学校に配置する。</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>○子どもと親の相談員 三郷小学校へ1人配置 年間勤務日数 68日 相談ケース数 5件</p> <p>○スクールカウンセラー 三郷中学校へ1人配置 年間勤務日数 35日 相談ケース数 62件</p>		
<p>点検・評価</p>	<p>○子どもと親の相談員 悩みを持つ児童の話丁寧聞き、ともに考え寄り添うことで、児童が安心感、自信、意欲を持ち、友だちの中で優しさを出すことができ、対人関係を円滑に持てるようになった。保護者に対しても学校行事や実習授業などで児童の活躍や成長ぶりを丁寧に伝えることで、安心感や信頼を深めることができた。</p> <p>○スクールカウンセラー ・生徒の抱える問題が多様化してきた中で、スクールカウンセラーはその専門性を生かし、生徒や保護者の相談等に的確に対応することができた。また教員に対しても問題の捉え方や指導の見通しなどの助言も行い、教員のカウンセリングの資質向上にも成果を上げている。 ・不登校児童・生徒などを孤立させない対策として、教職員経験者など地域の人材の参加を得ながら、フリースクール等の活動の展開ができるよう、広域的な連携を含めた支援のあり方を検討する必要がある。</p>		

<p>施策分野</p>	<p>1 学校教育の充実</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>⑥ 地域とともにつくる豊かな学校教育</p>
<p>事業名</p>	<p>子ども人権学習支援事業</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○目的 少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て機能の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、さまざまな子どもの活動を支援する事業を実施し、地域の教育力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>○事業内容・講座名 ・三郷小学校:多聞クラブ、ふれあいクラブ、親子で遊び隊 (体験学習・活動) ・三郷北小学校:つながり学級 (体験活動) ・三郷中学校: どんどん和太鼓 (和太鼓の演奏)</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>【活動実績】 ・多聞クラブ 活動回数: 13回 登録者数: 24人 活動内容: 人権学習、ゲートボール、歴史学習、軽スポーツ、社会学習 ・ふれあいクラブ 活動回数: 13回 登録者数: 35人 活動内容: 手話、国際文化交流、社会見学 ・親子で遊び隊 活動回数: 8回 登録者数: 91人 活動内容: ゲートボール、デイキャンプ、歴史散策、昔遊び、餅つき、星空観測 ・つながり学級 活動回数: 7回 登録者数: 37人 活動内容: 軽スポーツ、ミサトッ子づくり、歴史散策、餅つき、陶芸の絵付け、マジック体験、クラフト体験 ・どんどん和太鼓 活動回数: 24回 登録者数: 27名 活動内容: 講義、バチづくり、実技、三中紅葉祭参加 ※各講座とも人権フェスタ等の町行事にも参加・発表を行った。</p> <p>【協力支援者】 ・各学校のPTA、OB、地域のボランティア、各種団体の方々の協力を得ることができた。</p>		
<p>点検・評価</p>	<p>○人権フォーラムや人権フェスタへの参加・発表を通して、人権意識の高まりや地域の一員としての自覚を促す取り組みとなった。 ○講座の精選を図る意味で、一つの講座の内容を絞って内容を検討する。 ○安全面について、毎回安全管理員を配置する。 ○内容面について、継続できるものは、毎年の行事に組み込めば、計画が立てやすいと思われる。 ○和太鼓については、学校行事との調整を図り、日程調整をスムーズに行うことが必要である。 ○送りを職員と教員でしており、今後も安全管理の徹底を図る。 ○音楽に関わる、新たな講座を増設してほしいという要望もあり、次年度検討事項として事業を終えた。</p>		

施策分野	1 学校教育の充実	施策内容 (目標)	⑦ 学校給食体制の整備
事業名	学校給食、食育の推進、給食費の扶助		
事業概要	<p>○学校給食 安全安心の学校給食を実施する。</p> <p>○食育の推進 正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、食事を通して自らの健康管理ができるようにするために、食の指導の充実を図る。</p> <p>○給食費の扶助 経済的理由によって就学困難な児童及び生徒の保護者に対して、給食費の扶助を実施する。</p>		
現状又は実績等	<p>○学校給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に安全安心な学校給食を提供するため、できる限りの国産食材を使用している。地産地消の観点からも、県学校給食会推奨食品や信貴山のどか村の旬の野菜の使用を積極的に行った。また、県が実施している調理員研修にも積極的に参加して資質の向上に努めた。 ・町内1幼稚園・2小学校・1中学校において、センター方式による学校給食を実施している。また、各学校の保護者を対象に全ての学校・幼稚園で給食試食会を実施し、316名が参加した。 <p>○食育の推進 食育については、各学校で食に関する指導の全体計画を作成し、実践している。具体的には、生活科や家庭科や総合的な学習の時間を利用して、食に関する指導や給食に関わる指導を実施している。</p> <p>○給食費の扶助 保護者の収入が生活保護家庭の1.3倍以下の保護者に対して給食費の扶助を実施している。平成19年度は、191人が受給している。また、給食費の滞納者に対しては文書等での督促により滞納の解消に努めた。</p>		
点検・評価	<p>○安全安心な給食及び地産地消を推進するうえで、地元の「のどか村」と連携し、安心な野菜の使用に努めている。</p> <p>○学校の食育については、より計画的な実施が必要であるため、平成20年度からは、幼稚園においても食に関する指導の全体計画を作成する。</p> <p>○給食費の滞納については、保護者の経済的状況を把握したうえで、今後も滞納の解消に努める。</p>		

<p>施策分野</p>	<p>2 幼稚園教育・子育て支援の推進</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>① 魅力ある幼稚園づくり (地域に開かれた幼稚園)</p>
<p>事業名</p>	<p>地域に開かれた幼稚園事業、子育て支援、食育の推進、就園奨励</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○保護者や地域に信頼される幼稚園を目指し、社会・文化・自然などに触れ、生活の豊かさを体験し、教育内容の充実を図るとともに、円滑に小学校へ移行できるようにする。</p> <p>○子育てに不安を抱えている保護者に、子育ての喜びが感じられるよう、幼稚園の機能を生かし子育ての支援に努める。</p> <p>○学校給食を通し食育の推進を図る。</p> <p>○幼稚園教育の普及充実を図り、その振興に資するため、町立幼稚園の保育料の減免及び私立幼稚園への就園奨励費補助金の交付を行う。</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>○夏休みに、園児たちは、保護者と力を合わせて運動場の草引き等、労働の大変さを体験した。また、地域の方々が草刈りや草引きをしてくださる時があり、感謝の気持ちを『ありがとう』と言葉で表す幼児の姿がみられた。</p> <p>○保護者の保育参加や地域に開かれた幼稚園として理解いただく大切な機会として数年前から幼稚園ウィークを実施している。3歳児は、親子で地元の良さに気づいてほしいとの思いから、信貴山寺付近の散策を行った。4歳児は身近な自然物を活用しながら親子で工夫をしながら話し合うなど、力を合わせて共同で作品を作る満足感を味わっていた。5歳児は、農家の方にわらわをいただき、地域の方々の指導のもと、日本古来のしめ縄づくりを親子で体験し難しいことにチャレンジをする感動体験となった。</p> <p>○核家族化が進み、祖父母との同居の割合が低いという家庭環境を考え、近くの介護施設『もののみの郷』に4歳児が訪問し交流を行った。</p> <p>○年末には、家族や地域の方々と力を合わせ、盛大に餅つき大会を行った。</p> <p>○毎月一回の弁当持参日を設け、保護者にも、食育の大切さについて考えていただく機会としている。</p> <p>○食育の一環として、5歳児が中心となり園内菜園において野菜等を育てる体験を重ねている。食べることの楽しさや喜びを味わうことができ、食べ物の大切さや、作ってくれる人への感謝の気持ちの芽生えに繋がっている。</p> <p>※野菜作りの体験は、地域の方に指導していただいた。</p> <p>○子育て支援では、各家庭の状況に応じ、個別指導や預かり保育等を行った。</p> <p>○発達支援を必要とする幼児に、個別指導を推進するための人的配置を行うとともに指導力の向上に努めた。</p> <p>○就園奨励(対象者) 町立幼稚園 4名 私立幼稚園 202名</p>		
<p>点検・評価</p>	<p>○園児は、身近な人々との関わり、様々な体験をすることで、調和のとれた心身の発達が促されている。また、心を動かされる体験は、次の体験を生み出し幼稚園生活や遊びの充実につながっている。</p> <p>○地域の実態や保護者の事情も考慮しながら、幼児の生活リズムを踏まえ、弾力的に日数や時間など見直すなどの配慮をしていく必要がある。</p> <p>○子育てに不安を抱く保護者が多くみられるので、園内体制の整備を心がけ、関係機関との連携を図りながら、園の実態や保護者の要望に応じてさらに創意工夫が必要になっている。</p> <p>○就園奨励は、保護者の経済的負担を軽減することができた。</p>		

<p>施策分野</p>	<p>2 幼稚園教育・子育て支援の推進</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>① 魅力ある幼稚園づくり (教員の資質向上)</p>
<p>事業名</p>	<p>幼稚園教員研修</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○生駒郡内5園で組織される生駒郡幼稚園教育研究会の各研究部会に全員が所属し、年間研修計画に基づき、日々保育実践を積み重ねるとともに、公開保育や研究協議等を行う。</p> <p>○奈良県幼稚園教育研究協議会において、平成19年度は、本園が代表で研究協議会において発表を行なう。</p> <p>○保育園からの人事交流教員は、幼稚園新規採用教員研修の年間計画に基づき、すべての研修を受けることとする。</p> <p>○町教育委員会主催の、第3回特別支援教育研修会に全員が出席し、指導力の向上に努める。</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>○生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会 (教育課程部会：年間8回実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5園の保育について実践事例を持ち寄り、研究協議を行った。 ・6月に本園において公開保育を実施、生駒郡内全教員が出席し、指導の講師先生から厳しい指摘・助言があった。その後、日々の保育に生かすよう努めている。 ・10月に斑鳩西幼稚園において、奈良県内の教員が出席し、本園の実践事例を発表し、質疑応答や研究協議を行い、指導助言をしていただいた。 <p>(放送教育部会：年間7回実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度は、近畿放送教育研究大会が開催され、斑鳩町を会場に、公開保育や研究発表また講演会を行い、全教員の研修を深める場となった。 ・県内各郡市の代表園(生駒郡は南畑幼稚園)の保育内容についての実践事例が『放送教育研究のあしあと』に掲載された。 <p>○平成19年度幼稚園新規採用教員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画どおり10回程度受講する。1月に、奈良佐保短期大学和田准教授を招き、公開保育を行い指導を受け、具体例を上げながら大変厳しい指摘をいただいた。 <p>○特別支援教育研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度は第3回目となり、12月に三郷小学校の大庭先生の指導を全教員が自己研修の機会として受講し、発達支援はもちろん、質の高い保育・教育に繋げることができている。 		
<p>点検・評価</p>	<p>○奈良県及び生駒郡の幼稚園教育では様々な研究会が組織され、各市町村の情報交換が行われており、研修を深める機会も幾度となくあるが、質の高い保育内容・教育内容が求められていることを念頭に置き、さらに自己研鑽を積む必要がある。</p>		

<p>施策分野</p>	<p>2 幼稚園教育・子育て支援の推進</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>② 親と子の学びと成長への支援</p>
<p>事業名</p>	<p>放課後児童クラブ (学童保育)</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○目的：保護者が労働等により昼間家庭において保育できない児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図る。</p> <p>○対象：町内小学校に就学している概ね10歳未満（1年生～4年生）の児童</p> <p>○時間：午後1時～午後5時（学校の授業日） 午前9時～午後5時（学校の休業日）</p> <p>○内容：集団遊び、伝承遊び、スポーツ、工作、手芸、宿題などの自主学習</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>○学童保育所は、従前「三郷町学童保育の会」が運営しており、町からは指導員の派遣を行っていた。（常勤臨時職員5名、非常勤臨時職員1名）</p> <p>○平成19年10月1日からは、町が運営主体となり、名称を「放課後児童クラブ」へと変更した。</p> <p>○移行に伴い、年末年始の開所日数を増やした。また入会金を廃止し、育成料についても値下げを行った。</p> <p>○登録児童数（年間平均） 三郷小学校放課後児童クラブ 26名 三郷北小学校放課後児童クラブ 46名</p>		
<p>点検・評価</p>	<p>○町への直接運営主体に移行するにあたっては、概ね良好に移行することができた。</p> <p>○移行に伴い、開所日数が増加し、保護者負担の軽減などにより、昼間保育ができない保護者に対する支援を充実させることができた。</p>		

<p>施策分野</p>	<p>3 安全・安心の環境づくり</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>① 非常時安全対策の向上</p>
<p>事業名</p>	<p>AED「自動体外式除細動器」設置</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○教育委員会管理施設において、利用者が安心して利用できる環境整備に努めるため、AEDを設置する。</p> <p>※AED（自動体外式除細動器、Automated External Defibrillator）心室細動の際に機器が自動的に解析を行い、必要に応じて電気的なショック（除細動）を与え、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器。</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>○利用者が安心して安全に利用できる環境整備のため、AEDをスポーツセンター、ウォータープーク及び文化センターに各1台、計3台をに配備するとともに、学校内での緊急時に対応するため三郷中学校に1台を配備した。</p> <p>○運動中での心臓発作において、緊急を要する場合の応急処置が簡易に行えるようになった。</p> <p>○緊急時にAED装置の使用及び人命救助が正確・俊敏に行えるよう、西和消防署の協力のもと、「普通救命講習」を開催し、職員・体育協会役員・各連盟・管理業務委託従事者などが講習を受講した。</p>		
<p>点検・評価</p>	<p>○AEDはあるものの、緊急時に対応できるよう、施設管理者は常に機能チェック（対応年数等確認）し、機械操作や救命講習を常に行えるようにすることはもちろんのこと、今後も利用者全員がAEDを操作できるよう、広く長く啓発を行う必要がある。</p> <p>○平成20年度において、町内小学校に配備する予定である。</p>		

<p>施策分野</p>	<p>3 安全・安心の環境づくり</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>② 児童生徒の安全確保</p>
<p>事業名</p>	<p>子ども情報ネット、子ども見まもり隊、巡視</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○子ども情報ネット 子どもの安全確保をめざし、不審者情報等を携帯電話等にメール配信する。</p> <p>○子ども見まもり隊 学校と地域の連携により、登下校時の通学路の巡視を行う。</p> <p>○巡視 子どもの安全を守るため、小中学校の下校時に合わせて、町内を巡回する青色防犯パトロールを実施する。</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>○子ども情報ネット ・登録者数 約850件 ・不審者情報配信状況12件 (不審者出没11件、不審電話1件)</p> <p>○子ども見まもり隊 地域住民参加による子ども見まもり隊(約400名)及び巡視員委託(シルバー人材センター)による通学路の巡視を行った。</p> <p>○巡視 子どもの安全を守るため、小中学校の下校時に合わせて、町内を巡回する青色防犯パトロールを実施した。約100回/年</p>		
<p>点検・評価</p>	<p>○上記各事業の実施により、子どもの生命又は身体に危害を及ぼす犯罪の被害を未然に防止することができた。</p> <p>○地域住民の目が学校や登下校時の子どもに集まることから、今後も地域との連携をより深め、子ども見まもり隊への参加、巡視を広げていく必要がある。</p>		

<p>施策分野</p>	<p>4 生涯学習・文化活動の 振興</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>① 生涯学習の推進</p>
<p>事業名</p>	<p>各種学級事業、生涯学習基盤の整備</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○三郷町住民の生涯学習の場とするため、三郷町文化センターを拠点に各種学級や文化教室及び文化協会の講座・研修等を開催している。また、文化協会の活性化を図るための助言等も行っており、それらの集大成として文化協会まつりや文化祭・芸術祭などを開催している。</p> <p>○文化協会理事会・文化祭実行委員会・芸術祭実行委員会等で運営や取り組みについての審議や検討及び情報交換を行うため理事会を行っている。また、住民が安全・安心して利用できるよう文化センター施設の改修等維持管理を行っている。</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>【各種学級の参加状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級 学級生数： 40人 開講回数： 11回 ・長寿学級 学級生数： 188人 開講回数： 12回 ・婦人学級 学級生数： 40人 開講回数： 10回 ・くれない学級 学級生数： 53人 開講回数： 12回 ・みさと万葉学習会 学級生数： 61人 開講回数： 14回 ・歴史教室 学級生数： 170人 開講回数： 14回 <p>※各種学級については、定期活動と自主運営が行われている。 ※各学級では、視察等も実施した。</p> <p>・文化協会まつりや文化祭・芸術祭については、文化センターで開催された。</p>		
<p>点検・評価</p>	<p>○各種学級については、それぞれの実情に応じた内容で開催されており、応募者のほとんどが希望どおり参加できている。</p> <p>○生涯学習における各学級は動機付けであり、基礎的部分の知識や技能の習得が目的であることから、将来的には、自主活動・自主クラブ化へと移行するように指導及び助言を行った。</p> <p>○各教室・講座等の育成や活性化を図るとともに、成果を発表する機会として文化協会まつりや文化祭等がある。それぞれ実情にあった文化協会まつり、文化祭であるが、マンネリ化にならないよう創意工夫する必要がある。</p>		

<p>施策分野</p>	<p>4 生涯学習・文化活動の振興</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>② 青少年の健全育成</p>
<p>事業名</p>	<p>親子のつどい、教育講演会、非行防止、成人式</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○親子のつどい：活力と創造性に満ちた青少年を育成するとともに、親子・地域社会等のふれあいを築いていくことを目的とする。</p> <p>○教育講演会：次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的として、講演会を開催する。</p> <p>○非行防止：有害図書類等に対する立入調査の実施（年1回）。関係団体の協力のもと、夏休み・春休みに町内の巡視を行う。</p> <p>○成人式：新成人の門出を祝福するため「成人式」を開催する。</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>○親子のつどい ・青少年育成三郷町民会議地域活動部会の主催により開催した。 開催日時 11月23日 参加人数 178人 内 容 ものづくり体験、昔なつかしい遊び、あてもの、駄菓子、ゲーム</p> <p>○教育講演会 ・青少年健全育成全国強調月間の一環として、講演会を青少年育成三郷町民会議・三郷町PTA主催により行った。 ・講演会以外にも、式典・小中学生の作文発表・中学校吹奏楽部による演奏等を行った。 開催日時：11月10日 参加人数：293人</p> <p>○非行防止 ・有害図書等を取り扱う対象事業所へ、県と共に合同立入指導を実施した。 回数 年1回 時期 11月 ・夏休みに警察・関係団体の協力の得て、町内の巡視活動を行った。 回数 年8回 時期 夏休み中（午後7時～9時）</p> <p>○成人式 ・新成人の門出を祝福し、式典を開催。 開催日時 1月13日 対象者248人、出席者171人</p>		
<p>点検・評価</p>	<p>○親子のつどい：青少年育成三郷町民会議地域活動部会員の協力により、事業を実施し、参加者からは好評を得た。</p> <p>○教育講演会：平成19年度は土曜日に開催し、託児所を設けたことで、参加者が増えた。また、作文発表・吹奏楽の演奏等が好評を得た。</p> <p>○非行防止：有害図書類等の取り扱い対象事業所には、実態の把握・改善項目の指導を実施し改善した。 巡視活動については、例年は、春休みも実施しているが、本年度は悪天候や諸事情により、夏休みのみの実施となった。</p> <p>○成人式：出席率が前年より若干下回った。</p>		

<p>施策分野</p>	<p>4 生涯学習・文化活動の振興</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>③ 人権教育・啓発の推進</p>
<p>事業名</p>	<p>識字学級、人権教育地区別懇談会、人権問題学習セミナー</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○人権と共生のまちづくりの推進に努めるため、識字学級を開催する。</p> <p>○人権教育地区別懇談会を町内自治連合会単位で行う。</p> <p>○人権教育の推進を図るため、人権問題学習セミナーを実施する。</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>○識字学級 ふれあい交流センターで実施。生徒は4人で全員高齢者である。授業内容は、漢字の書き取りや読み方、算数等を中心とした学習で、年間75回(月曜日・木曜日)午後6時～午後7時30分まで実施した。全員熱心に学習に取り組んでいる。</p> <p>○人権教育地区別懇談会 ・その地域に暮らす人たちが、自分たちの地域社会を人権の視点で、より豊かな暮らしやすいものにしていく場として大切な役割を果たしている。 ・生活や人と人との関係の中での疑問や不合理・矛盾等を出し合い、みんなで学習しあう場となっている。 ・平成18年度からは、参加型を中心に行っている。 ※平成19年度参加者数 530人</p> <p>○人権問題学習セミナー ・年5回講座を開催した。うち2回は現地学習として、人権教育や人権啓発に取り組んでいる施設やまちづくりの先進地を訪ねて学習している。 ・人権問題学習セミナーで学んだことが、地域や職場などいろいろな場所で広まり、ともに生きる地域コミュニティづくりのために力になることをめざしている。 ※平成19年度参加者数 280人</p>		
<p>点検・評価</p>	<p>○識字学級 ・識字学級については、学級生の人数も少なくなり、高齢化しているが、町内の非識字の状況にある方々が、一人でも多く参加されるよう啓蒙活動(広報等)を行っている。</p> <p>○人権教育地区別懇談会 ・人権のまちづくりを広げていくためには、地区別懇談会は実施していく必要がある。 ・会場によって、人数のばらつきがめだつ。 ・人権問題を自分の問題としてとらえ、あらゆる差別と人権侵害を許さず、常に人権尊重の意識を持って行動することが大切である。</p> <p>○人権問題学習セミナー 毎年受講者数が増えており、人権意識が広がっている。</p>		

施策分野	4 生涯学習・文化活動の振興	施策内容 (目標)	④ 文化センターの充実																																																																										
事業名	各種公開講座、文化教室等町民の文化活動の向上及び施設の充実																																																																												
事業概要	<p>○文化センターは、文化教室をはじめ、各種公開講座や文化協会に加盟する団体など趣味の集いから各種研修会まで、多種多様な団体が利用しており、町民の文化活動の促進を図るとともに、町民の芸術文化に対する関心を高めてもらうための事業を実施している。</p> <p>○各種事業の運営や文化センター施設の維持管理については、(財)三郷町文化振興財団に委託している。</p>																																																																												
現状又は実績等	<p>○平成19年度文化教室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>内 容</th> <th>延受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭料理</td> <td>食育文化を大切にし基本的な家庭料理を学ぶ</td> <td>202人</td> </tr> <tr> <td>パンとお菓子</td> <td>手軽で簡単なパンとお菓子づくり</td> <td>325人</td> </tr> <tr> <td>パッチワーク</td> <td>身の回りの小物、壁掛けづくり</td> <td>142人</td> </tr> <tr> <td>オカリナ</td> <td>楽しく学ぶオカリナ教室</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>フラワーアレンジメント</td> <td>花を楽しみながら寄せ植え・リースなどをつくる</td> <td>61人</td> </tr> <tr> <td>絵と書</td> <td>色紙に自分の好きな絵と文字を書きオリジナル作品をつくる</td> <td>103人</td> </tr> <tr> <td>フラダンス</td> <td>フラダンスを通じて、美しく若々しい健康を保つ</td> <td>197人</td> </tr> <tr> <td>気功</td> <td>気功の呼吸法からストレス解消やリラクゼーション法などを学ぶ</td> <td>103人</td> </tr> <tr> <td>男の料理</td> <td>身近な材料を使った男性限定の調理実習</td> <td>257人</td> </tr> <tr> <td>初級韓国語</td> <td>初歩から韓国語を学ぶ</td> <td>257人</td> </tr> <tr> <td>声楽</td> <td>やさしく親しみやすい曲を歌う</td> <td>140人</td> </tr> <tr> <td>着付け</td> <td>手結び・紐結びでの着付けの実習</td> <td>183人</td> </tr> <tr> <td>やきもの</td> <td>初心者や経験者を対象としたやきものの実習</td> <td>359人</td> </tr> <tr> <td>マジック</td> <td>演じる側・見る側ともに楽しむマジック教室</td> <td>89人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成19年度公開講座</p> <table> <tr> <td>映像歴史教室</td> <td>延受講者数</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>源氏物語</td> <td>延受講者数</td> <td>97人</td> </tr> <tr> <td>講演会</td> <td>受講者数</td> <td>50人</td> </tr> </table> <p>○文化センター利用率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化ホール</td> <td>13.8%</td> <td>18.3%</td> <td>14.3%</td> </tr> <tr> <td>展示室</td> <td>47.1%</td> <td>28.7%</td> <td>36.9%</td> </tr> <tr> <td>会議室・研修室</td> <td>44.9%</td> <td>45.5%</td> <td>46.0%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>36.2%</td> <td>34.0%</td> <td>32.6%</td> </tr> </tbody> </table>			教室名	内 容	延受講者数	家庭料理	食育文化を大切にし基本的な家庭料理を学ぶ	202人	パンとお菓子	手軽で簡単なパンとお菓子づくり	325人	パッチワーク	身の回りの小物、壁掛けづくり	142人	オカリナ	楽しく学ぶオカリナ教室	75人	フラワーアレンジメント	花を楽しみながら寄せ植え・リースなどをつくる	61人	絵と書	色紙に自分の好きな絵と文字を書きオリジナル作品をつくる	103人	フラダンス	フラダンスを通じて、美しく若々しい健康を保つ	197人	気功	気功の呼吸法からストレス解消やリラクゼーション法などを学ぶ	103人	男の料理	身近な材料を使った男性限定の調理実習	257人	初級韓国語	初歩から韓国語を学ぶ	257人	声楽	やさしく親しみやすい曲を歌う	140人	着付け	手結び・紐結びでの着付けの実習	183人	やきもの	初心者や経験者を対象としたやきものの実習	359人	マジック	演じる側・見る側ともに楽しむマジック教室	89人	映像歴史教室	延受講者数	55人	源氏物語	延受講者数	97人	講演会	受講者数	50人		平成17年度	平成18年度	平成19年度	文化ホール	13.8%	18.3%	14.3%	展示室	47.1%	28.7%	36.9%	会議室・研修室	44.9%	45.5%	46.0%	その他	36.2%	34.0%	32.6%
教室名	内 容	延受講者数																																																																											
家庭料理	食育文化を大切にし基本的な家庭料理を学ぶ	202人																																																																											
パンとお菓子	手軽で簡単なパンとお菓子づくり	325人																																																																											
パッチワーク	身の回りの小物、壁掛けづくり	142人																																																																											
オカリナ	楽しく学ぶオカリナ教室	75人																																																																											
フラワーアレンジメント	花を楽しみながら寄せ植え・リースなどをつくる	61人																																																																											
絵と書	色紙に自分の好きな絵と文字を書きオリジナル作品をつくる	103人																																																																											
フラダンス	フラダンスを通じて、美しく若々しい健康を保つ	197人																																																																											
気功	気功の呼吸法からストレス解消やリラクゼーション法などを学ぶ	103人																																																																											
男の料理	身近な材料を使った男性限定の調理実習	257人																																																																											
初級韓国語	初歩から韓国語を学ぶ	257人																																																																											
声楽	やさしく親しみやすい曲を歌う	140人																																																																											
着付け	手結び・紐結びでの着付けの実習	183人																																																																											
やきもの	初心者や経験者を対象としたやきものの実習	359人																																																																											
マジック	演じる側・見る側ともに楽しむマジック教室	89人																																																																											
映像歴史教室	延受講者数	55人																																																																											
源氏物語	延受講者数	97人																																																																											
講演会	受講者数	50人																																																																											
	平成17年度	平成18年度	平成19年度																																																																										
文化ホール	13.8%	18.3%	14.3%																																																																										
展示室	47.1%	28.7%	36.9%																																																																										
会議室・研修室	44.9%	45.5%	46.0%																																																																										
その他	36.2%	34.0%	32.6%																																																																										
点検・評価	<p>○文化教室は、より多くの町民に参加していただくため、前年実施した教室に加え、新しい教室を企画し受講者を募集している。また、過去に受講された教室は再度受講できないこととし、応募者数が定員に満たない教室については、事業効果等を勘案し実施はしていない。今後も多くの町民に参加していただくため、教室の内容を検討しながら引き続き実施する。</p> <p>○文化センターは、町民の文化活動の向上を図るとともに、社会教育の振興に寄与することを目的に昭和60年7月に開館したが、施設の老朽化が進んでおり年次的な改修等対策が必要である。また、文化センターの管理運営については、民間の手法を用いて弾力性や柔軟性のある施設の運営を行うことが可能となる指定管理者制度を検討している。</p>																																																																												

<p>施策分野</p>	<p>4 生涯学習・文化活動の振興</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>⑤ 文化活動団体への支援</p>
<p>事業名</p>	<p>文化協会・婦人会など各種団体への補助</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○三郷町各種団体等運営補助金交付要綱に基づき、各諸団体の活動及び運営に要する経費を予算で定める額以内で補助金として交付する。 ・文化協会 ・婦人会 ・子ども会 ・文化祭実行委員会 ・芸術祭実行委員会</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>○文化協会 文化の向上と、文化創造に寄与し、会員の相互の親睦を図り、かつ個人の教養を高めることを目的とし、町の文化活動の中核団体として活動している。 (平成19年度補助金確定額 320,000円)</p> <p>○婦人会 会員相互の親睦を図り、教養を高め正しい家庭生活の樹立と平和で、民主的な社会の建設に努めるとともに婦人の地位向上をめざすことを目的として活動を展開する。 (平成19年度補助金確定額 360,000円)</p> <p>○子ども会 町内に在住する子ども達の健全育成を図るとともに、三郷町子ども会連合会活動を通して地域の連帯力と子ども一人ひとりの社会生活能力を高める。 (平成19年度補助金確定額 288,000円)</p> <p>○文化祭実行委員会 平成19年度は39回目を迎えた町民文化祭。自主的に文化活動を行っている町民を対象に文化の祭典である町民文化祭を開催して文化の向上に寄与している。 (平成19年度補助金確定額 693,888円)</p> <p>○芸術祭実行委員会 平成19年度は、芸術祭美術展は20回を記念し「20回記念展」を開催した。過去の受賞作を展示し好評を得た。作品数も前年度より増加し、住民の文化振興、芸術の向上に必要である。 (平成19年度補助金確定額 341,596円)</p>		
<p>点検・評価</p>	<p>○文化協会・文化祭 文化の向上・創造・振興に効果がある。</p> <p>○文化祭・芸術祭 住民の文化振興、芸術に対する意識の向上に効果がある。</p> <p>○婦人会 所期の目的達成に大きく寄与している。</p> <p>○子ども会 町全体の地域コミュニケーション力の向上が図れている。</p>		

施策分野	4 生涯学習・文化活動の振興	施策内容 (目標)	⑥ 図書館の充実																																																				
事業名	資料提供事業、文化事業の振興																																																						
事業概要	<p>○住民の求める情報を可能な限り提供できる情報発信基地として、資料及び情報を収集、整備、保存し提供する。また、余暇の増大、高齢社会等に対応して、図書館を生涯学習の拠点とし、誰もが気軽に利用できる住民相互のふれあいを創り出し、憩いのある場とする。</p>																																																						
現状又は実績等	<p>○平成19年度統計（平成18年度との比較）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成19年度</th> <th>平成18年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>207,979冊</td> <td>202,424冊</td> </tr> <tr> <td>入館者数</td> <td>211,095人</td> <td>213,304人</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>289,063冊</td> <td>291,190冊</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービス 口頭・電話・文書で寄せられる質問に対し、図書館資料を通して回答したり、所蔵していない資料に対しては、所蔵館に照会のうえ回答する。 ・土曜日の開館時間の延長、雑誌、AV資料の貸出し点数の増加、土曜日上映会日の増加等のサービス拡大実施。 ・ブックスタート（乳幼児サービス）、夏・冬のつどい、日曜おはなし会（児童サービス）、ブックリサイクル事業の実施。 ・ティーンズコーナー設置、インターネット、モバイルによる蔵書予約・検索の実施。 ・住民との協働による上映会、ストーリーテリングの会（おたまじゃくし）、朗読の会「明暗」の運営。 <p>○図書館行事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>行事名</th> <th>参加者数</th> <th>行事名</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本の森探検隊</td> <td></td> <td>冬のつどい</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>夏のつどい</td> <td>65人</td> <td>各種コンサート（10回）</td> <td>633人</td> </tr> <tr> <td>大人のストーリーテリング</td> <td>6人</td> <td>シニア英会話教室</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>南国の踊りフラダンス</td> <td>65人</td> <td>日曜日のおはなし会（48回）</td> <td>1,411人</td> </tr> <tr> <td>末崎茂樹原画展</td> <td>300人</td> <td>土曜の午後のおはなし会（10回）</td> <td>161人</td> </tr> <tr> <td>武鹿悦子氏講演会</td> <td>91人</td> <td>ブックスタート（7回）</td> <td>214人</td> </tr> <tr> <td>ブックリサイクル</td> <td></td> <td>ゆりかごおはなし会（4回）</td> <td>411人</td> </tr> <tr> <td>裁判員制度講習会</td> <td>50人</td> <td>上映会（47回）</td> <td>2,880人</td> </tr> <tr> <td>詩の朗読と音楽会</td> <td>63人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				平成19年度	平成18年度	蔵書冊数	207,979冊	202,424冊	入館者数	211,095人	213,304人	貸出冊数	289,063冊	291,190冊	行事名	参加者数	行事名	参加者数	本の森探検隊		冬のつどい	56人	夏のつどい	65人	各種コンサート（10回）	633人	大人のストーリーテリング	6人	シニア英会話教室	15人	南国の踊りフラダンス	65人	日曜日のおはなし会（48回）	1,411人	末崎茂樹原画展	300人	土曜の午後のおはなし会（10回）	161人	武鹿悦子氏講演会	91人	ブックスタート（7回）	214人	ブックリサイクル		ゆりかごおはなし会（4回）	411人	裁判員制度講習会	50人	上映会（47回）	2,880人	詩の朗読と音楽会	63人		
	平成19年度	平成18年度																																																					
蔵書冊数	207,979冊	202,424冊																																																					
入館者数	211,095人	213,304人																																																					
貸出冊数	289,063冊	291,190冊																																																					
行事名	参加者数	行事名	参加者数																																																				
本の森探検隊		冬のつどい	56人																																																				
夏のつどい	65人	各種コンサート（10回）	633人																																																				
大人のストーリーテリング	6人	シニア英会話教室	15人																																																				
南国の踊りフラダンス	65人	日曜日のおはなし会（48回）	1,411人																																																				
末崎茂樹原画展	300人	土曜の午後のおはなし会（10回）	161人																																																				
武鹿悦子氏講演会	91人	ブックスタート（7回）	214人																																																				
ブックリサイクル		ゆりかごおはなし会（4回）	411人																																																				
裁判員制度講習会	50人	上映会（47回）	2,880人																																																				
詩の朗読と音楽会	63人																																																						
点検・評価	<p>○土曜日の開館延長等のサービス拡大を実施したにも関わらず、入館者数や貸出冊数の増はあまり見られなかった。</p> <p>○企画事業では、上映会が1,324名もの参加増となり、団塊世代以上の年齢層の参加が多くみられる。</p> <p>○今後は図書館を利用されていない方々を、いかに図書館を利用していただくかを検討する必要がある。</p>																																																						

<p>施策分野</p>	<p>5 歴史的環境の保全</p>	<p>施策内容 (目標)</p>	<p>① 文化財・歴史的資料の保護</p>
<p>事業名</p>	<p>文化財の保護、啓発及び活用事業</p>		
<p>事業概要</p>	<p>○後世に継承すべき文化財の保護保存をしていくため、町内の文化財の確認作業、及び指定文化財等への保存伝承助成、環境整備が主な事業である。</p> <p>○町内の文化財について、広く町民等に啓発し、理解をしていただくために、各方面で文化財を活用できるよう、様々な企画を立案する。</p>		
<p>現状又は実績等</p>	<p>○本町には、現在、国指定重要文化財3点・県指定文化財1点・町指定文化財9件13点・国登録文化財1点があり、文化財保護法及び県文化財保護条例に基づき制定した町文化財保護条例によって、保存及び活用のため必要な措置を講じている。</p> <p>○指定文化財への助成は、修復負担金補助金として重要文化財1点、管理費補助金として町指定文化財1点に助成を行った。</p> <p>○文化財保護対策工事として重要文化財1点、町指定文化財1点の環境整備を行った。</p> <p>○開運橋について文化財保護審議会を開き、7月に国の登録文化財となった。</p> <p>○民間団体（住民組織）に依頼をし、本町の歴史研究冊子の作成や小学校及びその他団体への町内史跡ガイドを行った。</p>		
<p>点検・評価</p>	<p>○指定文化財の修復や環境整備については、合計3点について行い、一定の成果をあげることができたが、その他の指定されていない文化財については平成3年度調査以降の調査報告がなく、現状についての把握が必要である。</p> <p>○開運橋が国の登録文化財となり、文化財保護に新しい展開が開けたことは成果である。今後もこの制度について、候補があがる可能性もあるので、町内の近代建築などの状況把握が必要である。</p> <p>○学習資料室の整備について、長年進展がないので、今後展示の見直し等を行う必要がある。</p> <p>○広報誌への文化財の掲載や小中学校との連携など、文化財の活用を図る必要がある。</p>		

施策分野	6 生涯スポーツと健康づくりの振興	施策内容 (目標)	① 生涯スポーツと健康づくり
事業名	健康づくり、軽スポーツの普及		
事業概要	<p>○町民が生涯にわたり、心身ともに健康で文化的な生活を営み、地域社会の中で心豊かに連帯し、健康づくりに取り組む教育を推進する。</p> <p>○自分にあったスポーツライフの実現と競技の技量を身につけてもらうことを目的に、各年齢に応じた各種スポーツ等を実施する。</p>		
現状又は実績等	<p>○体育協会・体育指導委員を中心としたスポーツイベントを開催し、地域スポーツの浸透を図った。</p> <p>○平成19年度は健康保持を目標とし、軽スポーツの普及に取り組み、年間を通じ、8回開催し、延べ362人の参加者があった。</p> <p>○三郷町独自の軽スポーツ種目として、「インディアカdeオセロ」競技を考案し、参加者に体験してもらい高い評価を得るなど、充実した事業となっている。</p> <p>○平成19年度の新たな試みとして、ハイキングを実施し、三郷町史跡研究会の協力のもと、「信貴山・南畑地区」の歴史にふれあいながらの運動を取り入れるなど、年齢層を問わない事業を展開した。</p>		
点検・評価	<p>○各事業において、リピーターや子どもを含めた家族での参加者もあり、軽スポーツの楽しさや親しみやすさを実感していただいた点においては所期の目標を達成できている。</p> <p>○参加者をさらに増やすよう、啓発方法を工夫する必要がある。</p>		

施策分野	6 生涯スポーツと健康づくりの振興	施策内容 (目標)	② 体育施設の充実
事業名	体育施設整備		
事業概要	<p>○体育施設の整備・充実に図るとともに、生涯スポーツと競技スポーツを連携し、運動能力向上の拡充に努めることを目的に、地域スポーツの振興と拡大及び社会体育を推進する。</p>		
現状又は実績等	<p>○施設整備及び維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンターにおいて、玄関前インターホンを設置し、身体が不自由な方でも玄関先から事務所へ連絡がとれ、容易に介護ができる体制整備など、どなたでも快適に利用していただけるように施設改善を行った。 ・各施設の老朽化や維持管理に伴う補修として、健民グラウンド真砂土入替工事を行い、グラウンドの水はけやコンディションを万全に整え、利用者から高い評価を得た。その他、修繕補修を年間12回行った。 <p>○施設利用状況</p> <p>【スポーツセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アリーナ・サブアリーナ等 利用者数 62,429人 ・トレーニング室 利用者数 11,625人 <p>【健民グラウンド】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド 利用者数 39,830人 利用種目 野球・サッカー・ソフトボール・グラウンドゴルフ等 ・テニスコート 利用者数 10,403人 <p>【勢野グラウンド】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド 利用者数 3,668人 利用種目 少年野球、ソフトボール等 		
点検・評価	<p>○施設の整備充実によって、団体及び個人競技大会において、全国レベルで好成績を修めている。</p> <p>○施設の老朽化に伴い修繕が必要となっている。特にスポーツセンターにおいては、昭和62年の開業以来、施設全体はもとより、付属備品の修繕が後を絶たない現状から、抜本的な修繕が急務である。</p>		

参考資料

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」 ～抜粋～

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成19年6月改正（平成20年4月施行）